

Knock on the door



vol. 9 [如月・弥生の扉]

1. もうすぐ一年が終わります。

この一年はどうでしたか？充実した一年を送ることができましたか？
楽しかったことや悲しかったこと、嬉しかったことや悔しかったこと、
いろいろなことがあったと思いますが、そのすべてがあなたの人生の経験値となります。
もうすぐ一年が終わりますが、残りの時間もいろいろなことに挑戦できるといいですね。

失敗も人生の経験値！！
多くのことに挑戦しよう。



2. 無駄なものなんかない

「工場なんか臭いだけだし無駄だよ。僕は工場なんかで働きたくない。」

小学生だった僕は、母の車でそんなことを口にした。
そのとき母にこんなことを言われた。

「そんなことを言っではいけないよ。無駄なものなんかないのだから。もし、工場がなくなったら困る人はたくさんいる。お菓子だって食べられないし、車にだって乗れない。こうやって買い物だって行けない。一生懸命働く人がいるから、こうして幸せに暮らせているのよ。だから、どんな仕事だってバカにしてはいけないよ。」

小学生ながら僕は衝撃を受け、心が痛くなった。その日から僕はどんな仕事もバカにすることはなくなった。

大人になった今、あの頃の僕と同じようなことを言っている大人を見かけることがある。そのたびに母の言葉を思い出し、心が痛くなる。

無駄なものなんかないのに・・・

僕の好きな Mr.Children というバンドの歌にこんな歌詞がある。

ただ目の前に並べられた仕事を手際よくこなしてく
コーヒーを相棒にして
いいさ 誰が寝るでもないけど 小さなプライドをこの胸に勲章みたいに付けて
僕のした単純作業がこの世界を回り回って
まだ出会ったことのない人の笑い声を作っていく
そんな些細な生きがいも日常に彩りを加える。
モノクロの僕の毎日に 少ないけど 赤 黄色 緑 (Mr.Children 彩り)

仕事をしていると時々、「自分はなんでこんなことをしているのだろう？なんの役にたつのだろう？」と思うときがある。その度に僕はこの歌を聞き、また頑張っている。

今、勉強を頑張っている人、部活を頑張っている人、アルバイトを頑張っている人、家の手伝いを頑張っている人、「なぜこんなことをしているのだろう。」「こんなこと意味あるのかな」と思うことがあるかもしれない。

でも大丈夫。きっと、あなたが一所懸命頑張ることで、笑顔になる人がいる。
あなたの人生に無駄なことなんてないのだから。

～ 教育相談係 石原 皓生 ～